

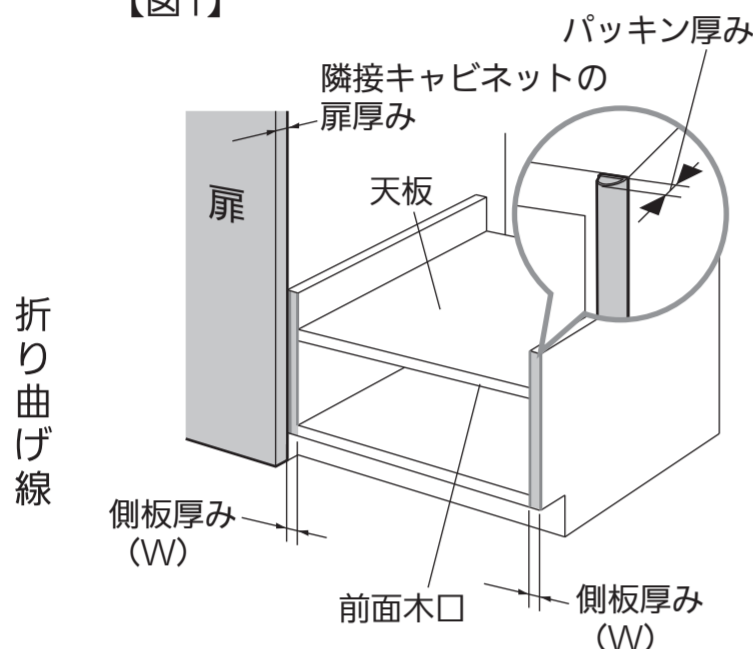
※機器の入れ替えの場合は、取付設置説明書を確認してください。

転倒防止金具・前ズレ防止金具用型紙の使用方法

STEP 1 型紙の不要部分の折り曲げ・切り取り

①型紙(本紙)左右端部...収納キャビネットの側板の厚み(W) (【図1】)に応じて型紙(本紙)の左右端部を【表1】の左右折り曲げ位置で折り曲げてください。

【図1】



【表1】

側板の高さ	側板の厚み(W)	左右折り曲げ位置
天板と同じ高さ	0 mm (側板なし)	折り曲げ「不要」
天板より上にある	15 mm	外側の破線
	18 mm	内側の破線

②型紙後端部...型紙(本紙)の後部(2か所)をキリトリ線に合わせて切り取ってください。

STEP 2 型紙の固定と穴あけ位置の目印付け

■収納キャビネットに下穴が開いている場合(メーカー製のキャビネット等)

①前ズレ防止金具の位置決め⇒型紙(本紙)の前ズレ防止金具用のネジ穴「A」(左右前側各1か所)を、収納キャビネットの下穴位置に合わせて型紙(本紙)をテープ等で固定してください。【図2】

②転倒防止金具の位置決め⇒収納キャビネットの転倒防止金具用のネジ穴の位置が、型紙(本紙)のネジ穴A~G、X、Yのいずれと合っているか確認し、転倒防止金具(実物)の同じ記号の刻印に、マジック等で目印を付けてください。

■収納キャビネットに下穴が開いていない場合、および、他社食洗機からの入れ替え時
前ズレ防止金具と転倒防止金具を取り付けるための下穴を収納キャビネットの天板に開けます。

【表2】基準値の場合

①【図1】のように、隣接キャビネットの扉厚み、パッキンの厚み、食洗機のドアパネルの厚みを計測します。計測した値が基準値(【表2】)の場合は、型紙(本紙)の前端を収納キャビネットの前面木口に合わせ、【図2】のようにテープ等で固定してください。

【表2】基準値 ※

隣接キャビネットの扉厚み	15 mm
パッキンの厚み	4 mm
ドアパネルの厚み	3.5 mm

※下穴位置が型紙(本紙)の前端から12 mmの位置になる条件

(上記(基準値)以外の場合は、巻末の【補足】の計算式に従い下穴位置を補正します。型紙(本紙)の前端を、収納キャビネットの前面木口から補正值の分だけ後方にずらして【図2】のようにテープ等で固定してください。)

②前ズレ防止金具の位置決め

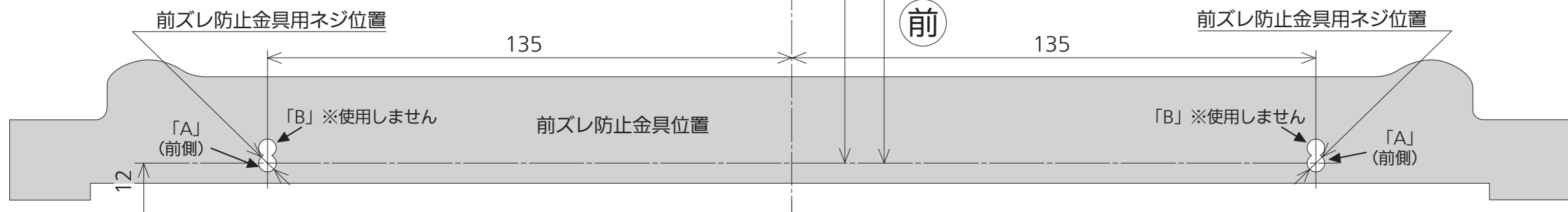
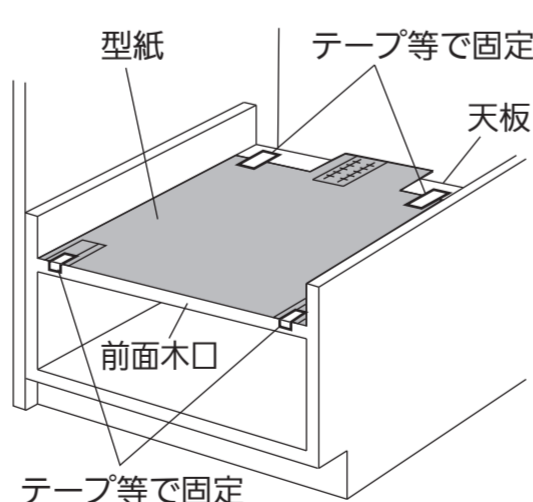
⇒型紙(本紙)の前ズレ防止金具用のネジ穴「A」(左右前側各1か所)の中心に目印(キリまたはポンチ)を付けてください。

③転倒防止金具の位置決め

⇒型紙(本紙)の転倒防止金具用のネジ穴A~G、X、Yの中から、天板の後端部より10 mm以上手前に位置するネジ穴(左右各1か所)を任意に選びます。選んだネジ穴位置の中心に目印(キリまたはポンチ)を付けてください。また、転倒防止金具(実物)の同じ記号の刻印に、マジック等で目印を付けてください。

④型紙(本紙)を外して、②と③で収納キャビネットの天板に付けた目印位置に、φ2.5、深さ12 mmの穴を精度よく開けてください。

【図2】テープ固定方法



後

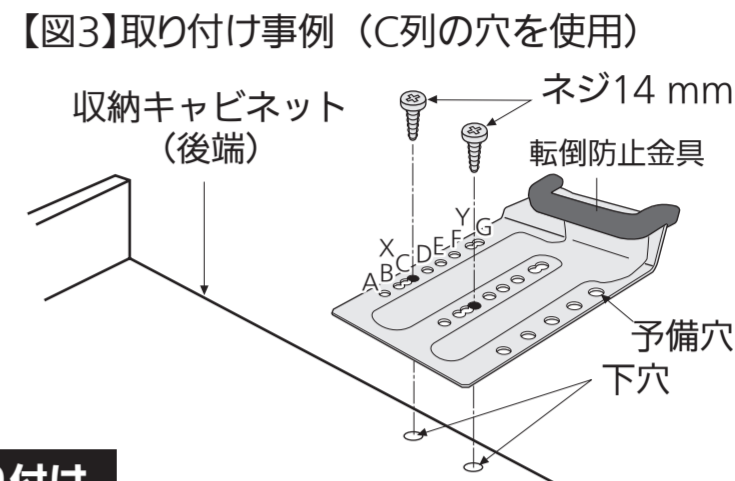
転倒防止金具取付位置

STEP 3 転倒防止金具の取り付け

マジック等で目印を付けた転倒防止金具の記号の穴を使い、収納キャビネットの下穴位置に合わせて2本のネジ(14 mm<同梱>)で取り付けます。【図3】

※ネジは必ず手で締めてください。(電動ドライバーは使わないこと)

※万一ネジが締まらなくなった場合は、予備穴にネジ14 mmで止め直してください。

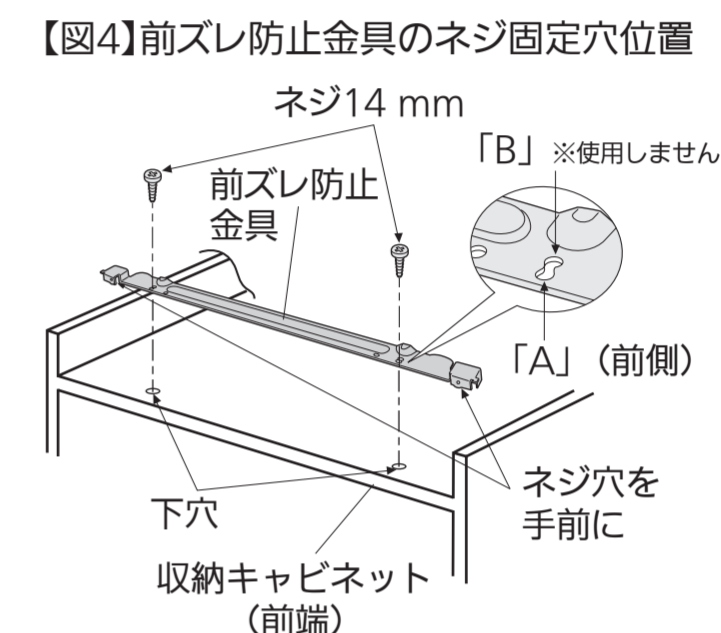


STEP 4 前ズレ防止金具の取り付け

型紙(本紙)に合わせて開けた下穴の位置に、2本のネジ(14 mm<同梱>)を使って、前ズレ防止金具を取り付けます。【図4】

(前ズレ防止金具の両端にあるネジ穴の締め付け穴記号「A」が手前側)

※ネジは必ず手で締めてください。(電動ドライバーは使わないこと)



【補足】

基準となる隣接キャビネットと本機の下穴の位置関係【図5】は下記の計算式で表されます。

<基本の考え方>

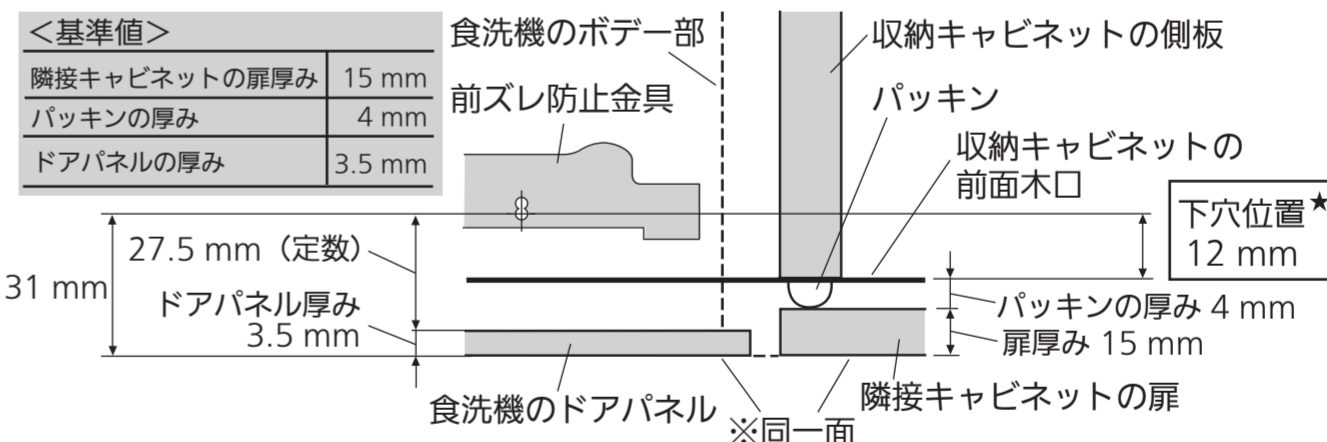
$$\begin{aligned} & \text{隣接キャビネットの扉厚み} + \text{パッキンの厚み} + \text{下穴位置(定数)} = 27.5 \text{ mm} + \text{ドアパネルの厚み} \\ & 27.5 \text{ mm} + \text{ドアパネルの厚み} - \text{隣接キャビネットの扉厚み} - \text{パッキンの厚み} = \text{下穴位置}^* \end{aligned}$$

★下穴位置は、前ズレ防止金具取付位置から収納キャビネットの前面木口までの距離です。

【図5】位置関係

■基準値の場合の計算例(下穴位置)

定数	ドアパネルの厚み	隣接キャビネットの扉厚み	パッキンの厚み	下穴位置	型紙前端の位置
27.5 mm	3.5 mm	15 mm	4 mm	12 mm	収納キャビネットの前面木口



■基準値以外の場合の計算例(下穴位置)

定数	ドアパネルの厚み	隣接キャビネットの扉厚み	パッキンの厚み	下穴位置	型紙前端の位置
27.5 mm	4 mm	15 mm	3 mm	13.5 mm	※補正必要

※計算した下穴位置と基準値の下穴位置12 mmとの差が補正值になります。
13.5 mm - 12 mm = 1.5 mm (補正值)

⇒型紙(本紙)の前端を収納キャビネットの前面木口から1.5 mm後方にずらして【図2】のようにテープ等で固定してください。

(注) 型紙(本紙)の前端は収納キャビネットの前面木口から後方に5 mmまで調整が可能です。前方への調整はできません。(基準値の12 mmが限界)

前

中心線

474

434